

使い方の手びき

ジャノメ 352型

ごあいさつ

この度は、ジャノメマシンをお買い上げ頂きましてありがとうございます。
致します。

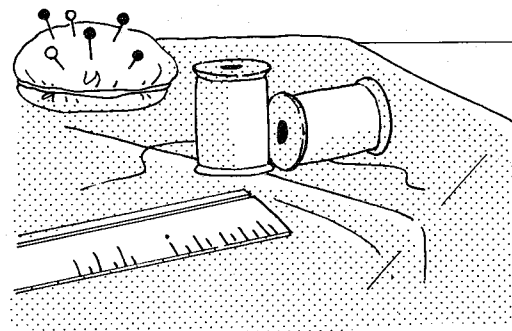
このマシンは、専門メーカーのジャノメが、60余年の豊かな経験
と技術の蓄積から開発した高級マシンです。

最新の生産技術を備えた工場で、厳しい品質管理を経てお客様に
お届け致しました。

また、全国500余のジャノメマシン直営支店で、毎月マシンの使い
方教室やホームソーイングのための教室も開講して、マシンを楽し
く使っていただくためのサービスを行っています。

品質面でも、サービス面でも安心してお使いいただけるマシンです。
末永くご愛用され素敵な手作りライフをお楽しみください。

なお、ご使用に際しましては、この「使い方の手引き」をよくお
読みになり、正しくお使いください。



●目 次

基 礎 編

● 各部の名まえ	2～3
● 標準付属品	3
● おとり扱いについてのお願い	4
● 補助テーブル	5
● 電源のつなぎかた	5
● 速さの調節のしかた	5
● 照明ランプ	5
● 布と糸と針の関係	6
● 針のはずしかた、つけかた	6
● 押えのはずしかた、つけかた	7
● 下糸の準備	7～9
★ ボビンケースのはずしかた	7
★ 下糸の巻きかた	8
★ ボビンケースのとりつけかた	9
● 上糸の掛けかた	10
● 下糸の引きあげかた	11
● 糸調子の出しかた	11
● 送りダイヤル(縫い目のあらかの調節)	12
● 送り歯のさげかた	12
● 返し縫いレバー	12
● 模様の選びかた(ジグザグダイヤルと 模様選択ダイヤル)	13
● 直線縫い	14
★ 縫いはじめ	14
★ 縫い方向をかえる	14
★ 縫いおわりと糸の切りかた	14

● ジグザグ縫い	15
● ジグザグ縫い裁ち目かがり	15

応 用 編

● 三重縫い	16
★ 三重直線縫い	16
★ 三重ジグザグ縫い	16
● スーパー模様縫い	16
● くけ縫い	17
● ボタン穴かがり	18
● ファスナーつけ	19
● 三つ巻き縫い	20

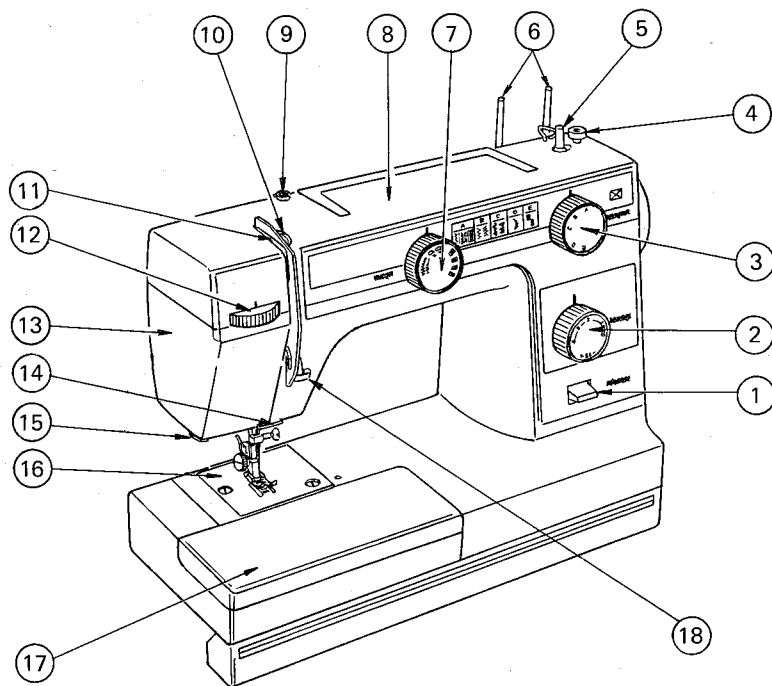
ミシンの手入れ

● 送り歯の手入れ	21
● かまの手入れ	21
● 注油のしかた	22
● ミシンの調子が悪いとき	23～24

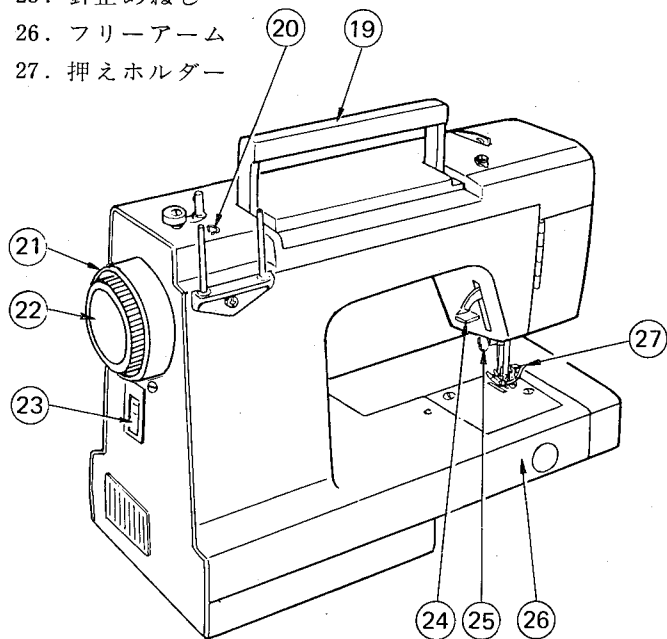
基礎編

●各部の名まえ

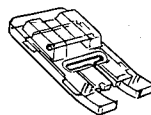
1. 返し縫いレバー
2. 送りダイヤル
3. 模様選択ダイヤル
4. ボビン押え
5. 糸巻き軸
6. 糸立て棒 (糸立て台)
7. ジグザグダイヤル
8. 天板
9. 糸巻き糸案内
10. 天びん
11. 天板糸掛け
12. 糸調子ダイヤル
13. 面板
14. 面板糸掛け
15. 糸切り
16. 針板
17. 補助テーブル (小物入れ)
18. 糸案内糸掛け



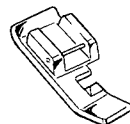
- 19. 手さげハンドル
- 20. 天板糸案内
- 21. はずみ車
- 22. クラッチつまみ
- 23. プラグ受け
- 24. 押え上げ
- 25. 針止めねじ
- 26. フリーアーム
- 27. 押えホルダー



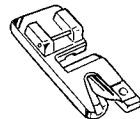
●標準付属品



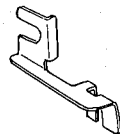
ボタンホール押え



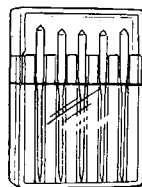
ファスナー押え



三つ巻き押え



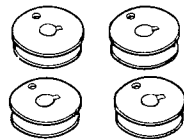
くけ縫いガイド



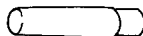
針ケース



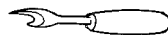
フェルト



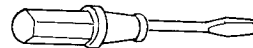
ボビン



ねじまわし(小)



リップパー



ねじまわし(大)

●おとり扱いについてのお願い

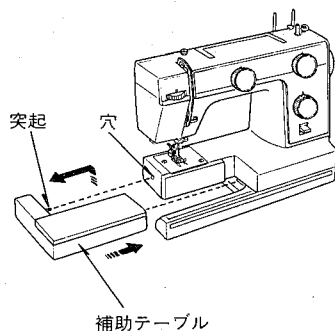
★より安全のために……

- ①ミシンを動かしているときは、針から目をはなさないように注意し、はずみ車、天びん、針などに手を触れないでください。
- ②つぎのようなときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。
 - 使用後 ■ミシンのそばをはなれるとき
 - 部品をつけたり、はずしたりするとき
 - ミシンの手入れをするとき
- ③コントローラーの上には、絶対に物をのせないでください。
- ④たこ足配線は、危険ですからやめましょう。

★ご使用の前に……

- ①ほこりや油などで布を汚さないように、ミシンをよくふいでください。
 - ②ミシンのセットや、押え、針を交換するときには、この《ご使用のしおり》を見て、正しく、確実にセットしてください。
 - ③ミシンをセットしたら、実際に縫うものと同じ布や糸で試し縫いをしてみましょう。
- このミシンは、日本国内用に作られていますので、外国では使用できません。
(This sewing machine can not be used in foreign country as designed for Japan only.)

●補助テーブル

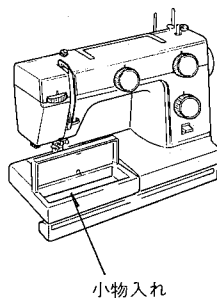


★はずしかた

補助テーブルを持ちあげながら横に引いてはずします。

★つけかた

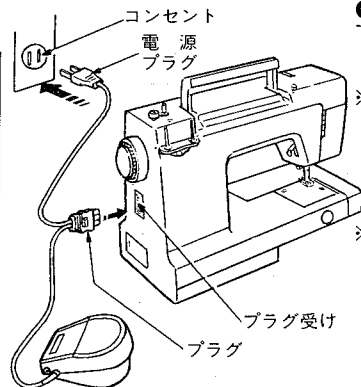
補助テーブルをフリーアームにそってさしこみ、突起を穴におさめます。



★小物入れ

補助テーブルをひらくと、小物入れに標準付属品が収納されています。

●電源のつなぎかた

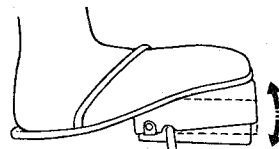


図のように配線します。

※ミシンを使わないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。

※電源は一般家庭用 (100V 50 / 60Hz) です。

●速さの調節のしかた



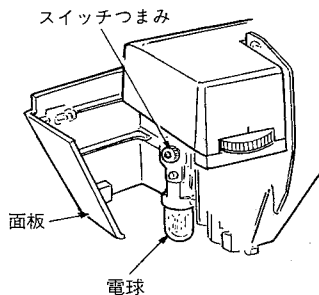
ミシンのスピードは、コントロールローラーの踏み込みで調節します。

浅く踏みこむ……………おそい
深く踏みこむ……………はやい

●照明ランプ

《つけたか、消しかた》

面板をひらいて、スイッチつまみをまわします。



※安全のために、ランプはとりつけたままにしておいてください。

●布と糸と針の関係

布に適した糸と針の目安		
布	糸	針
うすい布	絹糸 80番～100番	9 番
	綿糸 80番～100番	または
	化繊糸 90番	11 番
普通の布	絹糸50番	11 番
	綿糸50番～80番 (化繊糸50番～60番)	または 14 番
厚い布	絹糸50番	14 番
	綿糸40番～50番 (化繊糸40番～50番)	または 16 番

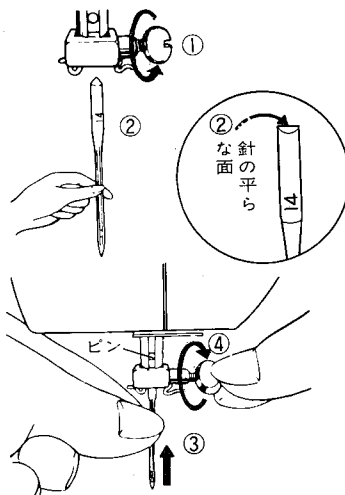
※一般に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。

この表を目安に、糸と針を選び、試し縫いをして確かめてください。

※原則として、上糸と下糸は、同じものを使用してください。

※伸縮性のある布(ニット地)や合織の布などには、ブルー針を使用すると効果があります。

●針のはずしかた、つけかた



①針止めねじを手前にまわしてゆるめ、針をはずします。

②針の平らな面を向こう側に向けて、針止めにさしこみます。

③針を、奥いっぱい、ピンにあたるまで入れます。

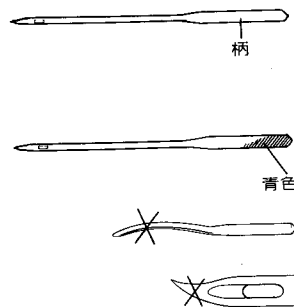
④針止めねじを、向こう側にまわして、かたくしめます。

《針の選びかた》

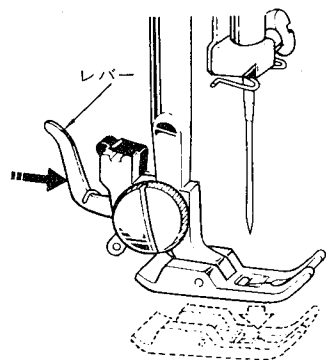
■針の太さを示す番号は、柄に表示してあります。
数字が大きくなれば太くなります。

■ブルー針は、柄の部分が青色をしています。

※針の全体が曲がってしまったものや、針先がつぶれたり曲がったりしたものは、使用しないでください。



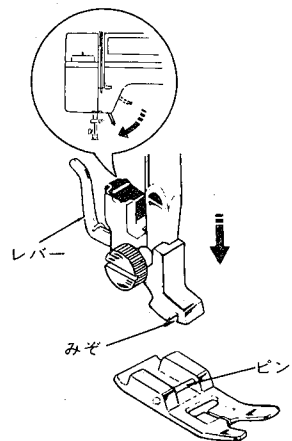
●押えのはずしかた、つけかた



《はずしかた》

針と押え上げをあげ、押えホルダーのレバーを手前に押します。

※押えを、無理に引いて、はずさないでください。

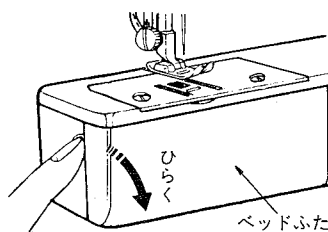


《つけかた》

押えのピンを、ホルダーのみぞの真下において、押え上げを静かにおろし、ピンをみぞに入れます。

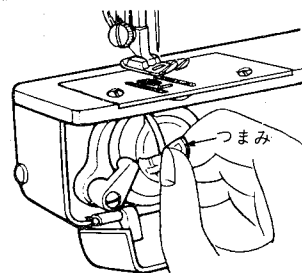
●下糸の準備

★ボビンケースのはずしかた

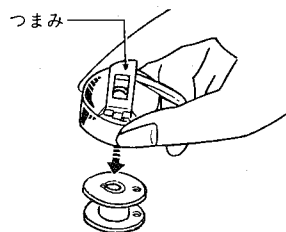


①針と押えをあげ、補助テーブルをはずします。

②ベッドふたをひらきます。

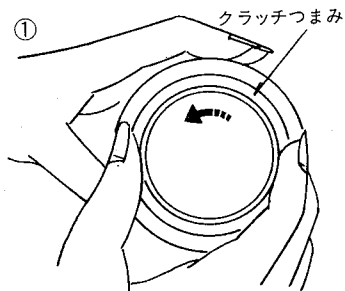


③ボビンケースのつまみをおこして、とりだします。

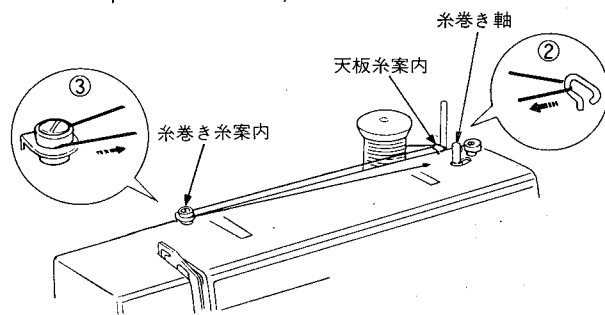


④ボビンケースのつまみをとじて下に向けると、ボビンがはずれます。

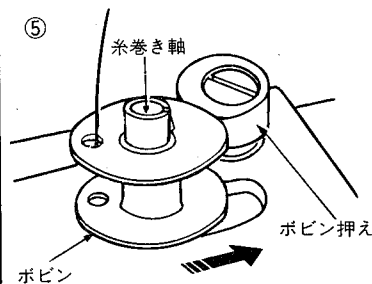
★下糸の巻きかた



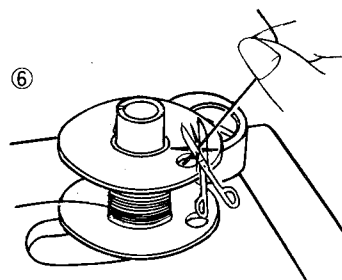
- ①はずみ車を押さえて、クラッチつまみを左にまわします。
- ②糸こまから引き出した糸を、天板糸案内に掛けます。
- ③つぎに、糸巻き糸案内に掛けます。



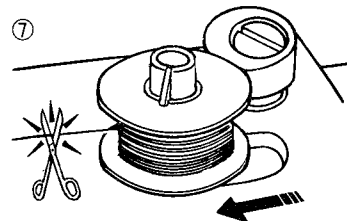
- ④ボビンの穴に内側から糸を通します。



- ⑤ボビンを糸巻き軸にさしこみ、糸の端を指でつまんでボビンをボビン押えの方向に押します。



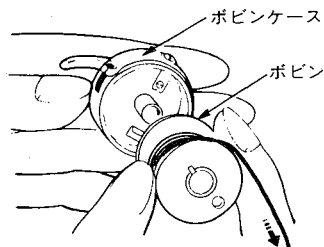
- ⑥糸の端を指でつまんだままコントローラーを踏んで、ボビンに糸が5～6回巻きついたら、いったんミシンを止めて穴のきわで糸を切ります。



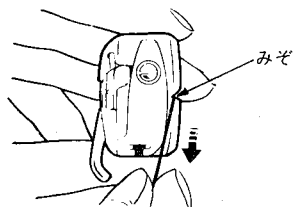
- ⑦コントローラーを再び踏んで、巻きおわったらボビンをもとに戻し、糸巻き軸よりはずして糸を切ります。

※クラッチつまみを右に止まるまでまわします。

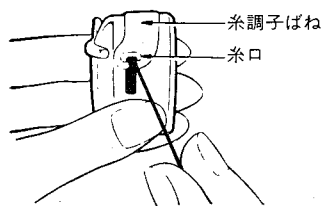
★ボビンケースのとりつけかた



- ①下糸を巻いたボビンを、図の方向（時計回り）に、糸の端をたらし、ボビンケースに入れます。

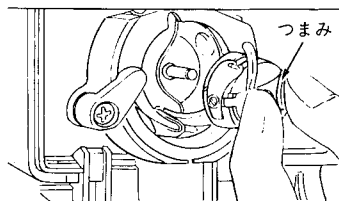


- ②みぞに糸を通します。

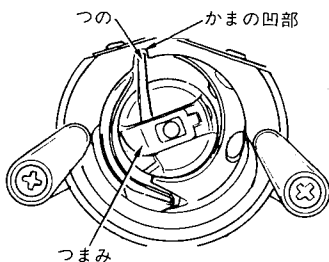


- ③糸を引いて、糸調子ばねの下を通し、糸口に引き出します。

- ④針をあげ、ベッドふたをひらきます。

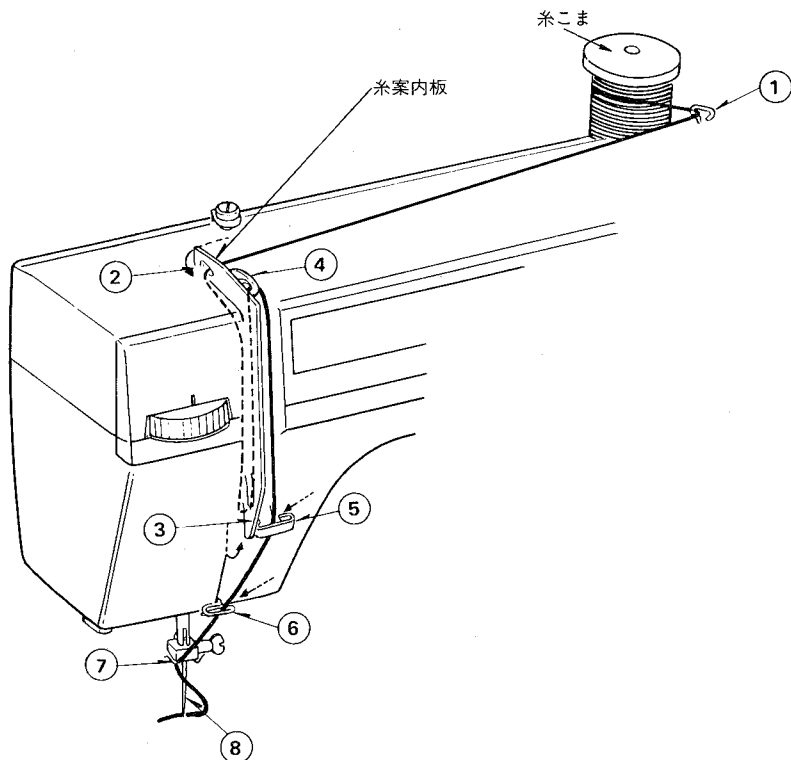


- ⑤ボビンケースのつまみを起こして、かまにとりつけます。



- ⑥ボビンケースのつのを、かまの凹部に合わせ、奥の方へいっぱいに入れてから、つまみをはなし、ベッドふたをしめます。

●上糸の掛けかた

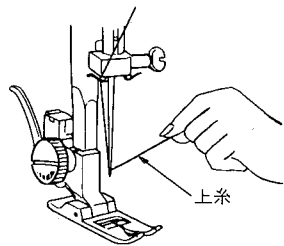


押え上げをあげ、はずみ車を手前にまわして天びんを最上部にします。糸こまを押さえながら、正しく糸を掛けてください。

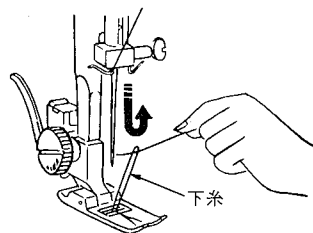
- ①糸こまから糸を引き出し、天板糸案内に掛けます。
- ②天板糸掛けに掛け、糸案内板の左側にそって下におろします。
- ③糸を糸案内板の下にまわして、左から右に掛け、上に引きあげます。
- ④天びんへは、左から後ろにまわして右手前に引き出し、まっすぐ下におろします。
- ⑤糸案内糸掛けに右から掛けます。
- ⑥面板糸掛けに右から掛けます。
- ⑦針棒糸掛けに左から掛けます。
- ⑧針穴の手前から向こう側に糸を通し、糸の端を15cmほど引き出しておきます。

※糸こまの下に、付属品のフェルトをしいてください。

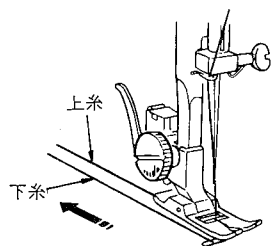
● 下糸の引きあげかた



- ① 押え上げをあげ、左手で上糸の端をつまんでややゆるめに持ちます。



- ② 右手ではずみ車を手前にまわし、針をいったんさげてから再びあげます。天びんが最上部にきたら、上糸を軽く引くと、下糸が「輪」になって出てきます。



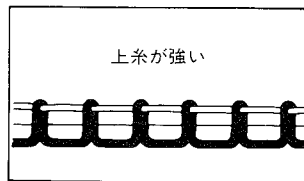
- ③ 出てきた下糸と上糸を、押えの下から向こう側へ、15 cmほど引き出して、そろえておきます。

● 糸調子の出しかた

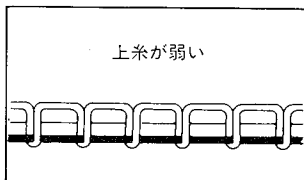
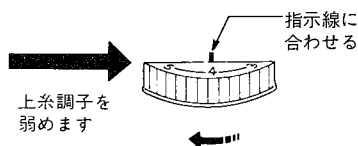
一般に糸調子は、糸調子ダイヤルで調節します。縫う前にボビンケースを左手に持ち、右手で糸を引き出して、ちょっと手ごたえがあるという感じで、しかも糸がなめらかに出てくる場合には、特に下糸の糸調子を調節する必要はありません。



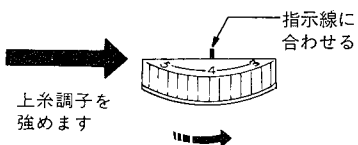
上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわります。



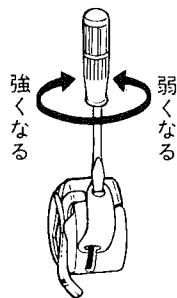
布の上に下糸が出ます。



布の下に上糸が出ます。



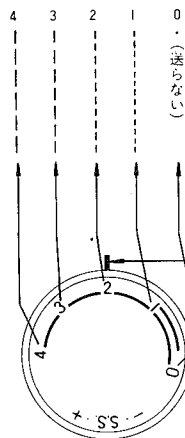
＜下糸調子の調節のしかた＞



ボビンケースの調子ねじをまわして調節します。
右にまわすと、下糸調子は強くなり、左にまわすと下糸調子は弱くなります。

※通常は、下糸調節の必要はありません。

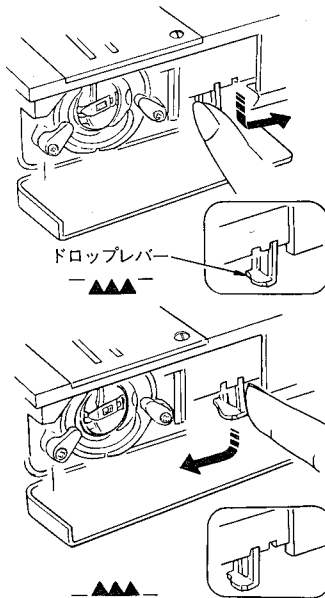
●送りダイヤル(縫い目のあらかさの調節)



送りダイヤルをまわして、縫い目のあらかさをセットします。

模様選択ダイヤルを「A」、ジグザグダイヤルを または に合わせて、送りダイヤルをまわすと、送り(縫い目のあらかさ)は、左図のように変化します。

●送り歯のさげかた

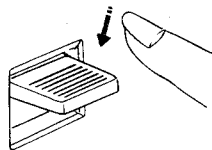


※ベッドふたをひらきます。

★送り歯をさげるには、ドロップレバーを押しさげたまま矢印方向に動かして右の溝に入れます。

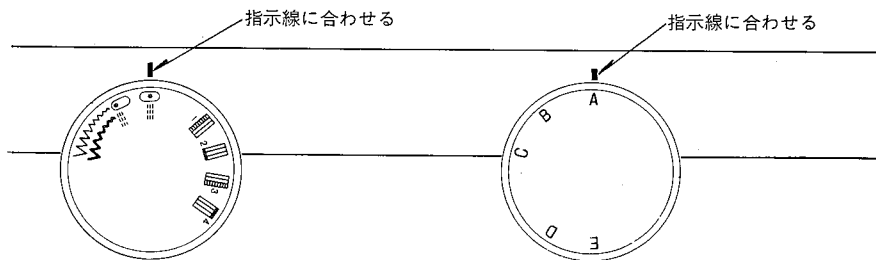
★送り歯をあげるには、ドロップレバーを押しさげたまま矢印方向に動かして左の溝に入れます。

●返し縫いレバー



返し縫いレバーを押している間は、返し縫いとなり、指をはなすと、前進縫いにもどります。

●模様の選びかた(ジグザグダイヤルと模様選択ダイヤル)



ジグザグダイヤル(縫い目の巾の調節)

針をあげてダイヤルをまわし、直線縫いの針落ち、ジグザグの縫い目の巾、ボタンホール縫いをえらびます。

ジグザグ縫い(縫い目の巾の変化)

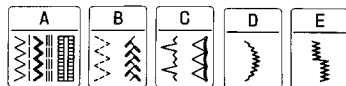
直線縫い(針落ち左)

直線縫い(針落ち中)

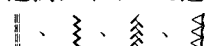
ボタンホール縫い

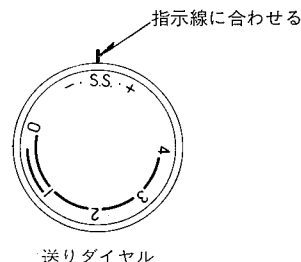
模様選択ダイヤル

針をあげてダイヤルをまわし、A B C D Eの記号を合わせて、模様をえらびます。



《スーパー模様の選び方》

送りダイヤルを「S.S.」に合わせると、模様選択ダイヤルで選んだ縫い目は、のスーパー模様になります。



※模様の形が整わないとき、伸びている場合には「一」方向に、つまっている場合には「十」方向に、送りダイヤルをまわして調整します。

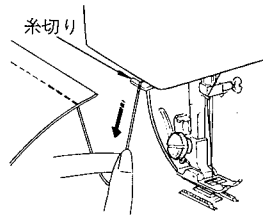
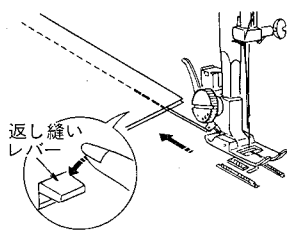
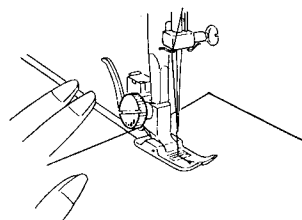
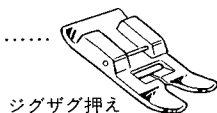
※針をさげたままでダイヤルをまわすと、針がまがったり折れたりする原因になります。

※ダイヤルをセットするときは、それぞれの縫いに示された《セットのめやす》を参照してください。

●直線縫い(|)

《セットのめやす》

糸調子ダイヤル..... 2 ~ 6
 ジグザグダイヤル.....  または 
 模様選択ダイヤル..... A
 送りダイヤル..... 1.5 ~ 4
 押 え.....



★縫いはじめ

- ①針と押えをあげます。
- ②上糸・下糸をそろえて、押えの向こう側に15cmほど引き出し、糸のたるみをなくします。
- ③上糸・下糸を左手で押えて、はずみ車を手前にまわし、縫いはじめの位置に針をさします。
- ④押えをおろし、コントローラーを浅く踏んで、ゆっくり縫いはじめます。縫いはじめの部分は、返し縫いレバーを押して、数針縫い、ほつれ止めをします。

★縫い方向をかえる

- ①針を布にさしたまま、ミシンを止め、押えをあげます。
- ②針を軸にして、布の向きをかえます。
- ③押えをおろして縫います。

★縫いおわりと糸の切りかた

- ①返し縫いレバーを押して、数針縫います。
- ②押えをあげて、布を向こう側に引き出します。
- ③面板の糸切りで、糸を切ります。

●ジグザグ縫い(ㄣ)

《セットのめやす》

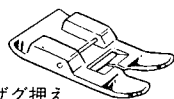
糸調子ダイヤル.....2～5

ジグザグダイヤル.....ㄣ

模様選択ダイヤル.....A

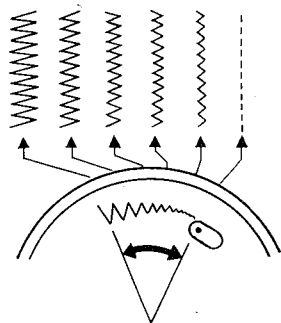
送りダイヤル.....0.3～4

押 え.....



ジグザグ押え

《縫い目の巾》



ジグザグ縫いの範囲

※送りダイヤルを「1」に合わせて、ジグザグダイヤルをㄣの間でかえると、縫い目の巾（ジグザグ巾）は、図のように変化します。

●ジグザグ縫い裁ち目かがり(ㄣ)

《セットのめやす》

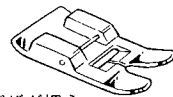
糸調子ダイヤル.....3～7

ジグザグダイヤル.....ㄣ (ジグザグ巾最大)

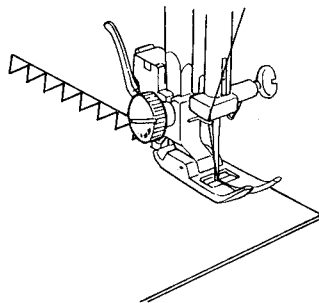
模様選択ダイヤル.....A

送りダイヤル.....1～2

押 え.....



ジグザグ押え



裁ち目のほつれ止めをするときには、針が、右側にきたとき、布端すれすれのところに落ちるようにします。

※試し縫いをして、適切な糸調子をだしてください。

※裁ち目かがりで、布のかえりがあるときには、トリコトステッチB(ㄣ)で布の端をかがると効果があります。

応 用 編

●三重縫い(||||)(ㄣ)

《セットのめやす》

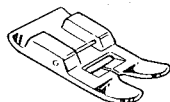
糸調子ダイヤル..... 2 ~ 6

ジグザグダイヤル.....  または 

模様選択ダイヤル..... A

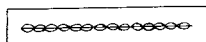
送りダイヤル..... S. S.

押 え.....



ジグザグ押え

★三重直線縫い



補強縫い、飾り縫いとして効果があります。

★三重ジグザグ縫い



飾り縫いに使います。

※布が前後しますので、縫い目がまがらないように注意して縫います。

●スーパー模様縫い(ㄣ)(ㄣ)

《セットのめやす》

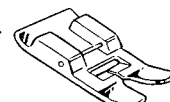
糸調子ダイヤル..... 1 ~ 4

ジグザグダイヤル.....  (ジグザグ巾最大)

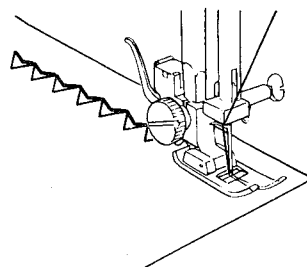
模様選択ダイヤル..... B または C

送りダイヤル..... S. S.

押 え.....



ジグザグ押え



布が前後するので、縫い目がまがらないように注意して縫います。

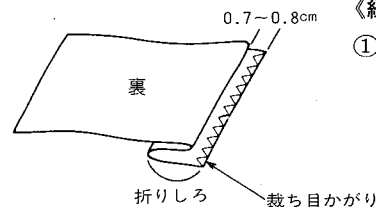
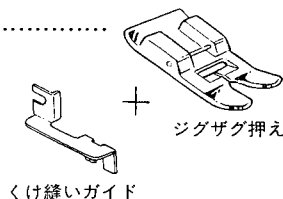
※目のとびやすい伸縮性の布や目のつんだ布には、プル一針を使用すると効果があります。

●くけ縫い()

《セットのめやす》

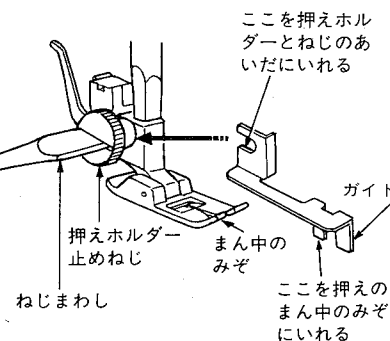
糸調子ダイヤル..... 1 ~ 4
 ジグザグダイヤル.....  (ジグザグ巾最大)
 模様選択ダイヤル..... C
 送りダイヤル..... 1 ~ 3

押 え.....



《縫いかた》

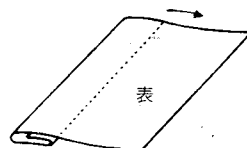
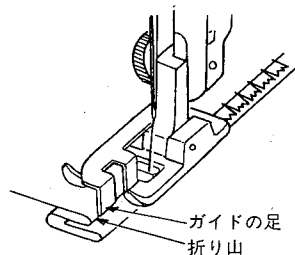
① 折りしろの布端から
 0.7~0.8cmひかえて、
 図のように布を折り
 ます。



② 押えをあげて、押えホルダー止めねじを2~3山ゆるめて、くけ縫いガイドをとりつけます。

③ つけ終わったら、ねじをしめます。

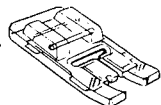
④ ガイドの足に布裏の折り山をぴったりあてて縫います。
 左側の針落ちが折り山の織り糸を1~2本すくう程度に縫います。
 ⑤ 縫い終わったら、布をひろげます。



●ボタン穴かがり(Ⅲ)

《セットのめやす》

糸調子ダイヤル.....1~5
 ジグザグダイヤル.....Ⅲ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳ
 模様選択ダイヤル.....A
 送りダイヤル.....0.3~1 (— の範囲)
 押 え.....

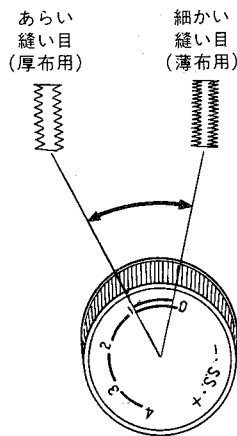


ボタンホール押え

※縫うものと同じ布で、試し縫いをして、確かめてから縫ってください。

※伸縮性のある布には、布の裏に芯地をはってください。

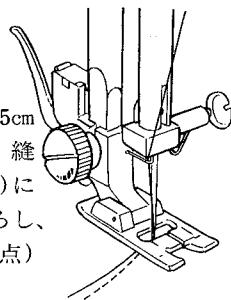
※ボタン穴の位置と大きさをチャコでしるしをつけてください。



《縫いかた》

模様 Ⅲ を選びます。

上糸・下糸を左横へ15cmほど引き出しておき、縫いはじめの位置(A点)に針をさして押えをおろし、左側に必要な長さ(B点)まで縫います。

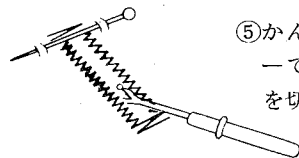


②針をあげて模様 Ⅱ を選び、かんぬき5針くらい(C点)まで縫い、ミシンを止めます。

③針をあげて、模様 Ⅲ を選び、左側と同じ長さ(D点)まで縫い、ミシンを止めます。

④針をあげて、模様 Ⅳ を選び、かんぬきを5針くらい(E点)まで縫ったら、ジグザグダイヤルをまわして(●)に合わせて、数針止め縫いをします。

⑤かんぬきの内側にまち針を留め、リッパーでかがり糸を切らないように中央部分を切りひらきます。



●ファスナーつけ(|)

《セットのめやす》

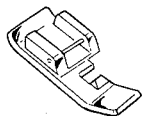
糸調子ダイヤル..... 3 ~ 6

ジグザグダイヤル..... 

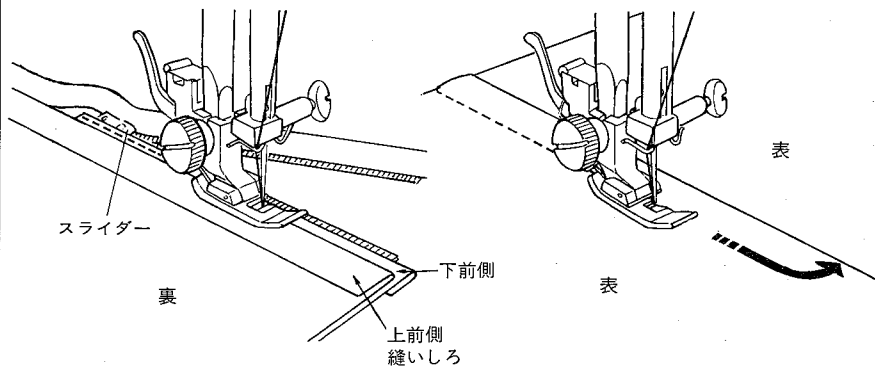
模様選択ダイヤル..... A

送りダイヤル..... 2 ~ 3

押 え.....



ファスナー押え



《縫いかた》

- ①ファスナーの台布を下前側の布の折り山に突き合わせて、ファスナーを閉じておきます。
- ②上糸・下糸を押えの下から向こう側に引き出します。
- ③はじめに下前側からミシンをかけます。ファスナーの左側を縫うときは、針が折り山のきわに落ちるようにします。
- ④中ほどまで縫ったら、針を布にさしたままで押えをあげ、スライダーを押えの向こう側にずらして、押えをおろし、残りを縫います。
- ⑤つぎに、上前側のファスナーの右側を縫います。ファスナーを閉じ布の向きをかえて、布の上からむしのきわに針が落ちるように縫います。左側を縫うときと同様に、中ほどでスライダーをずらして縫います。

●三つ巻き縫い(|)

《セットのめやす》

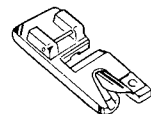
糸調子ダイヤル..... 3 ~ 6

ジグザグダイヤル..... 

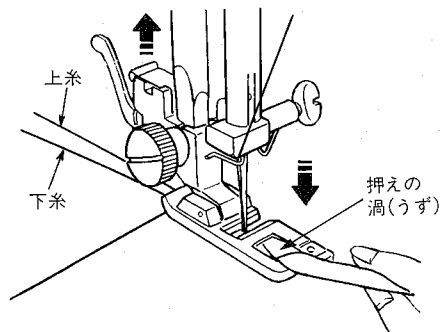
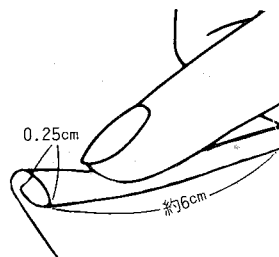
模様選択ダイヤル..... A

送りダイヤル..... 1.5 ~ 3

押 え.....



三つ巻き押え



《縫いかた》

①布端の長さ約6cm分だけ、0.5cm巾を三つ折りにします。

②縫いはじめの部分に針をさし、押えをおろします。

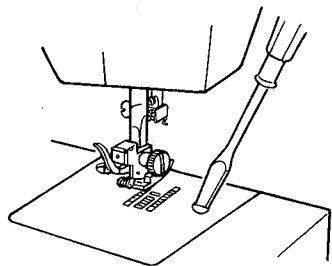
③上糸・下糸を、そろえて向こう側に引きながら、1 ~ 2 cm縫います。

④はずみ車を手でまわし、針を布にさしたままいったん押えをあげ、折りしろを、押えの渦(うず)の中に巻きこみます。

⑤押えをおろし、布端を立てて、やや左へ引きぎみに持ちあげながら縫います。

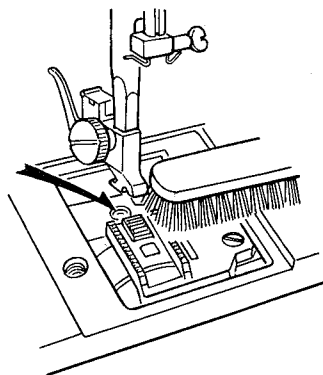
ミシンの手入れ

●送り歯の手入れ



①針と押えをはずします。

②針板のしめねじをねじまわしではずして、針板をはずします。

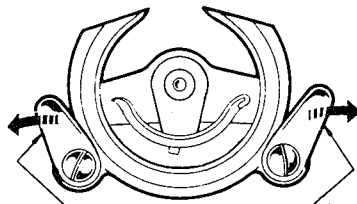


③送り歯のごみを、はけ、ブラシなどで手前に落とします。

④図の矢印のところにミシン油をさします。

⑤針板をつけて、ねじまわしで、ねじをしめます。

●かまの手入れ



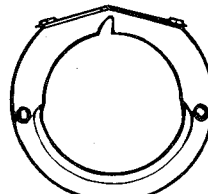
大がまふた押え

①針をあげて、ベッドふたをあけ、ボビンケースをはずします。

②大がまふた押えを左右にひらき、大がまふたと中がまをはずします。



中がま



大がまふた

③ブラシでかまの内部を掃除し、1～2滴ミシン油を注油して、布で軽く拭きとります。

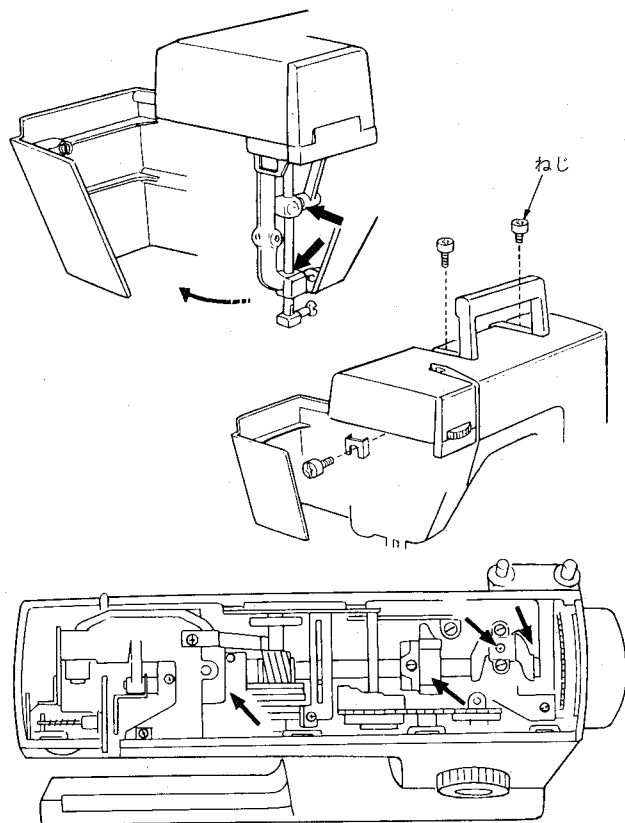
④中がまを油布で拭きます。



ボビンケース

⑤はずしたときと逆の順序でくみつけます。

●注油のしかた



面板をひらいて手さげハンドルをおこし、ねじ3本をゆるめて天板をはずします。

ミシンの動きを軽くなめらかにし、長もちさせるために、図の矢印の部分に良質のミシン油を1～2滴注油して、ミシンを1～2分間ほど速く回転させ、よく油をしみこませます。

一般の家庭では、継続して使用するときには、10時間に1回ぐらい注油します。また、しばらく使用しなかったときは、使用前に一通り注油してください。

※注油が多すぎると、ボビンや糸が汚れたり、糸切れの原因となるため、ごく少量を注油してください。

※注油のときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。

※余分な油は、よく拭きとってください。

●ミシンの調子が悪いとき

調子が悪いとき	その原因	なおしかた
上糸が切れる。	1. 上糸の掛けかたがまちがっていたり、糸が必要以外のところからみついている。 2. 上糸調子が強すぎる。 3. 針がまがっていたり、針先がつぶれている。 4. 針のつけかたがまちがっている。 5. 針板の針穴や、押え、かまなどに傷がついている。 6. 縫い終わったとき、布を横や手前の方向に引いた。 7. 布に対して針や糸が細すぎるか太すぎる。	上糸を正しく掛けなおす。 上糸調子を弱める。 針を交換する。 正しくつける。 傷のついている部品を交換する。 向こう側に引く。 適切な針や糸をえらぶ。
下糸が切れる。	1. ボビンケースの下糸の通しかたが、まちがっている。 2. ボビンケースの調子ばねを強くしめすぎている。 3. ボビンケースの中やばねの中に、ごみがたまっている。	正しく通しなおす。 ねじを少しだけゆるめて、下糸調子を適切にする。 ボビンケースを掃除する。
針が折れる。	1. 針のつけかたがまちがっているか、針がまがっている。 2. 針を布にさしたままで、ジグザグダイヤルや模様選択ダイヤルをまわした。 3. 布を無理に引いた。 4. 布に対して針が細すぎる。 5. 上糸の掛けかたが、まちがっていたり、ミシン操作が、まちがっている。	針を交換するか正しくつけなおす。 針を布より上にあげてからダイヤルをまわす。 布を無理に引かない。 針を交換する。 正しいやりかたでなおす。

●ミシンの調子が悪いとき

調子が悪いとき	その原因	なおしかた
縫い目がとぶ。	1. 針のつけかたがまちがっているか、針がまがっている。 2. 布に対して針や糸が細すぎるか太すぎる。 3. 伸縮性のある布や合繊の布にブルー針を使っていない。 4. 上糸の掛けかたがまちがっている。	針を交換するか正しくつけなおす。 適切な針や糸を選ぶ。 ブルー針を使う。 上糸を正しく掛けなおす。
縫い目がしわになる。	1. 上糸または下糸の調子が強すぎる。 2. 布に対して縫い目が細かすぎるか、あすぎる。 3. 上糸・下糸の掛けかたがまちがっていたり、糸が必要以外のところからみついている。	糸調子を適切にする。 送りダイヤルを適切にセットする。 糸を正しく掛けなおす。
縫い目に輪ができる。	1. 上糸または下糸の調子が合っていない。 2. 布に対して針や糸が細すぎるか太すぎる。 3. 上糸や下糸の掛けかたがまちがっている。	糸調子を適切にする。 適切な針や糸を選ぶ。 糸を正しく掛けなおす。
布送りがうまくいかない。	1. 送り歯に糸くずがたまっている。 2. 縫い目が細かすぎる。	送り歯を掃除する。 送りダイヤルを適切にセットする。
ミシンの回転がでない。 音が高い。	1. 送り歯やかまに、ごみや糸くずがたまっている。 2. かまの油がきれている。	掃除する。 注油する。

お客様相談コーナー

★ジャノメマシンでは全国500余の直営支店で万全のアフターサービスをしております。この手びきに書かれている方法で直らないときは、最寄りの支店へご連絡ください。

★お問合わせの際は、この手びきをお読みにになりながらお電話くださると係員も故障の原因や個所がわかって便利です。

★お電話いただければ調整係がおうかがいますから、必要以上に分解などなさらなくてください。

★アフターサービスについて、ご相談、ご要望がございましたら、本社お客様相談室または、下記の代表支店へ何なりとお申しつけください。

本社・お客様相談室 ☎03(277)2200

〒104 東京都中央区京橋3-1-1

札幌支店 ☎011(261)5671
〒060 札幌市中央区南二条西2-11

仙台支店 ☎0222(21)3591
〒980 仙台市国分町3-5-32

新潟支店 ☎0252(41)8661
〒950 新潟市東大通り2-4-13

東京支店 ☎03(277)2488
〒104 東京都中央区京橋3-1-1

大宮支店 ☎0486(41)2975
〒330 大宮市下町1-6

千葉支店 ☎0472(22)5121
〒280 千葉市富士見町1-14-11

横浜支店 ☎045(251)8523
〒231 横浜市中区長者町5-71

名古屋支店 ☎052(733)5116
〒464 名古屋市千種区内山3-33-14

大阪支店 ☎06(213)1635
〒542 大阪市南区三津寺町20

尼崎支店 ☎06(481)2193
〒660 尼崎市東難波5-7-20

広島支店 ☎082(228)5181
〒730 広島市中区鞆町15-9

高松支店 ☎0878(31)1721
〒760 高松市瓦町2-10-14

福岡天神支店 ☎092(712)0721
〒810 福岡市中央区天神3-4-10

鹿児島支店 ☎0992(25)2200
〒892 鹿児島市山之口町1-1

* 上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

ジャノメミシン

東京都中央区京橋3-1-1 蛇の目ミシン工業㈱

